

立退き避難が必要となる家屋等の表示（マーク）

● 計画規模の降雨で立退き避難が必要となる家屋

この表示がある家屋は、計画規模の3m未満の浸水時に、平屋建て、または2階建て家屋でも構造的に2階の床上まで浸水が想定される家屋です。必ず、避難の情報に従い安全な避難場所へ避難をして下さい。

● 最大規模の降雨で立退き避難が必要となる家屋

この表示のある家屋は、最大規模の雨量時に5m未満の浸水が想定されるエリアの家屋で、家屋内で安全が確保できない家屋です。市などからの情報に注意し、最大規模の降雨が想定される場合は、早期の避難を実施してください。

浸水深表示

- 0～0.5m 未満
- 0.5～1.0m 未満
- 1.0～3.0m 未満
- 3.0～5.0m 未満

小浜清滝区防災マップ 計画規模

小浜清滝区は、計画規模（概ね30年から100年に一度の大雨）の降雨で区全域で1m以上3m未満の浸水が想定されており、殆どの家屋の1階部分が水没状態となる恐れがあります。また、最大規模（概ね1000年に一度の大雨）の降雨では、区の一部が3m以上5m未満の浸水が想定されており2階部分も水没状態となる恐れがあります。気象情報や市からの避難に関する情報に注意し、安全な段階で、市が指定する避難場所へ避難をして下さい。

大雨時にとるべき行動

小浜市では住民の皆様の避難が必要と判断した場合、その緊急度に合わせて避難情報を発令します。市から発表される情報に注意してください。災害時に支援の必要な方が近くにおられる場合は、助け合って避難しましょう。

避難情報など

警戒レベル	避難行動など	避難情報など
警戒レベル5	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	緊急安全確保 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令。 小浜市が発令
警戒レベル4	速やかに避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難指示 地域の状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合などに発令。 小浜市が発令
警戒レベル3	避難に時間を要する人（高齢の方、障がいのある方、乳幼児など）とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難 小浜市が発令
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報など 気象庁が発令
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 気象庁が発令

※各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

警戒レベル5では既に災害が発生しています。また、必ず発令されるものではありません。

警戒レベル3や警戒レベル4で、地域の皆さんで声を掛けあって、安全・確実に全員避難しましょう。

避難等に関する情報は小浜市防災メールに登録すると便利です。左のQRコードから登録して下さい。避難情報や避難所開設情報などが配信されます。



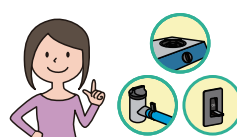
適切な避難行動

避難の種類と行動

避難行動には、1 避難所や、近隣の安全な場所（近隣のより安全な場所・建物など）への「立退き避難」、2 「立退き避難」をすとかえって危険な場合は、その時点で居る建物内でより安全な部屋などへ移動する「屋内安全確保」、3 2階以上の高いところへ避難する「垂直避難」があります。



避難時の心得



火の元（コンロ、暖房器具、タバコ、線香など）と戸締りを確認、電気はブレーカーを落として、親戚や知人などに避難することを連絡しておきましょう。



動きやすい服装で、必要最小限の荷物を持ち、2人以上で避難しましょう。



深さ30cmを超えると自動車は走行困難になります。

大雨によって発生する災害・被害



内水氾濫

大雨により、河川の水位が上昇することで、下水道や水路からの排水ができなくなり、水があふれ出す現象を「内水氾濫」といいます。



外水氾濫

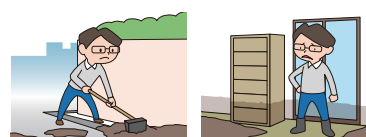
大雨によって河川を流れる水が大幅に増え、堤防から水があふれたり、堤防が決壊することにより水が流れ出す現象を「外水氾濫」といいます。

道路の冠水



エンジンが停止したり、ドアが開かないなど、車内から出られないことがあります。

床下・床上浸水



流れ込んでくる水は泥水であり、水が引いた後も土砂や泥が堆積するため、片付けが大変です。

家屋の倒壊



河川沿いでは、家屋が倒壊し、命の危険性があります。

区指定の避難場所
働く婦人の家
Tel 52-7002

